

べいかんにちぐん じ えんしゅう

# 米韓日軍事演習 やめろ

どうろうそうれんごう せんとう がいちゅう か ちょうせんかくせんそう たいけつ  
動労総連合を先頭にストライキで J R 外注化・朝鮮核戦争と対決を

もりとも じ けん あ べ せいけん はんざい  
森友事件は安倍政権の犯罪だ

どうろうそうれんごう かいてい たい どうろう ち ば どうろう み と せんとう  
動労総連合は 3・4 J R ダイヤ改定に対し、動労千葉・動労水戸を先頭にスト  
で 闘 い、「第 2 の国鉄分割・民営化」攻撃との大決戦に突入した。3 月 11 日に  
は、「被曝労働拒否」を掲げる労働組合を軸に福島県 郡 山市で「反原発福島行動  
17」が 闘 いとられた。この 闘 いは、日米韓軍事同盟による 朝 鮮半島一 東 アジ  
アで切迫する戦争一核戦争の危機と真っ向から対決し、今や底なしに腐敗を深め  
る安倍政権を打ち倒していく突破口を開いた。闘 う労働組合が 中 心に立ち、そ  
のもとに全人民が団結して 闘 うことこそが戦争を止め、安倍を倒す 力 だ。さら  
に沖縄、三里塚、全戦線で 3 月決戦をぶちぬこう。

ざんしゅさくせん たいせいてんぶく かくせんせいこうげきさくどう べいてい  
「斬首作戦」＝体制転覆と核先制攻撃策動する米帝

がつつたち がつまつ げつ きょうこう べいかんごうどうぐん じ えんしゅう  
3 月 1 日から 4 月末まで、2 カ月にわたって 強 行される米韓合同軍事演習「フ  
ォール・イーグル」は、朝 鮮 (核) 戦争への実質的突入 といつてよい大軍事演習  
だ。兵 力 は過去最大規模の 31 万 7 千人。原子 力 空母カール・ビンソンが初参加  
し、横須賀のロナルド・レーガンと合わせ空母 2 打撃群態勢をとる。さらにグア  
ム配備の戦 略 爆撃機 B 1 B、沖縄・嘉手納基地配備の F 22 ステルス戦闘機、岩  
くに き ちはいび さいしんえい せんとう き はつとうにゅう  
国基地配備の最新鋭 F 35 B ステルス戦闘機も初投入 される。

せん じ し きけいとう えんしゅう にち  
戦時の指揮系統をシミュレーションする「キー・リゾルブ」演習も、13 日か  
ら米韓軍によって 強 行される。北 朝 鮮の核・ミサイル基地への先制攻撃とキム

ジョンウン（金正恩）政権の転覆＝「斬首作戦」をも狙った「作戦計画5015」の全面的な発動である。韓国への配備が開始されたTHAAD（サード＝高度迎撃ミサイルシステム）の使用も射程に入れている。今回の演習は、この間米軍が北朝鮮や中国との戦争をにらんで東アジアに集中配備してきた最新鋭兵器を総動員した一大軍事作戦として強行されている。この演習がいつも本物の戦争になってもおかしくない。

追いつめられたキムジョンウンは、6日にはミサイルを発射し、在日米軍基地を標的に想定したと発表した。米日韓は、北朝鮮スターリン主義の「核には核で」という反人民的な軍事的対抗やマレーシアでの暗殺事件などを絶好の餌食として戦争発動をあおり、その準備に拍車をかけている。

3月15日には米国务長官ティラーソンが「北朝鮮情勢を緊急に協議するため」に訪日する。米韓軍事演習のただ中での訪日は、目前に迫る朝鮮戦争への日本の参戦を目的としている。安倍政権も、この機に自衛隊の朝鮮出兵と日帝自身の核武装への道をこじ開けようと全力を挙げている。3月5日の自民党大会は、総裁任期を3期9年に延長するとともに、改憲に総力を挙げることを決議した。絶対に許せない。

この情勢に韓国では、民主労総を先頭に労働者人民が戦争絶対反対を掲げて立ち上がっている。3月1日には約40団体が米韓合同演習の即時中止を求める声明を発表し、「ぞっとする対決の悪循環に終止符を打たなければならない」と訴えた。

民主労総との連帯にかけて、朝鮮戦争とそこへの日本の参戦を絶対に止めよう！ 国際連帯・共同行動沖縄3・19結成総会と3・26三里塚全国集会をその決定的な闘いとしてかちとろう。

「<sup>かくせんそう</sup>核戦争か<sup>せ かいかくめい</sup>世界革命か」の<sup>じんるい し</sup>人類史の<sup>ぶん き てん</sup>分岐点が<sup>とうらい</sup>到来

<sup>ちょうせんせんそう</sup>朝鮮戦争の<sup>せつぱく</sup>切迫は、<sup>だい</sup>第 1 次大戦、<sup>だい</sup>第 2 次大戦が<sup>ぜん せ かい</sup>そうであったように、<sup>ぜん せ かい</sup>全世界の<sup>ろうどうしゃ</sup>労働者が<sup>せんそう</sup>戦争と<sup>さくしゅ</sup>搾取、<sup>よくあつ</sup>抑圧を<sup>ひつぜん</sup>必然とする<sup>し ほんしゅ ぎ</sup>資本主義社会を<sup>ひと</sup>すべての<sup>にんげん</sup>人びとが<sup>い</sup>人間らしく<sup>しゃかい</sup>生きられる<sup>ぜんめんてき</sup>社会へと<sup>へんかく</sup>全面的に<sup>た あ</sup>変革しようと<sup>じ だい</sup>立ち上がる<sup>とうらい</sup>時代の<sup>い み</sup>到来を意味する。

この<sup>ちょうせんせんそう</sup>朝鮮戦争は「<sup>きたちょうせん</sup>北朝鮮の<sup>こうげき</sup>攻撃から<sup>に ほん</sup>日本を守る」ためではなく、<sup>かんこく</sup>韓国を<sup>せんとう</sup>先頭に<sup>はじ</sup>始まっている<sup>ろうどうしゃかくめい</sup>労働者革命を<sup>あつさつ</sup>圧殺するための<sup>せんそう</sup>戦争だ。

トランプ、<sup>あ べ</sup>パククネ、<sup>せい ふ</sup>安倍の<sup>きょうつう</sup>政府に<sup>いのち</sup>共通することは、いずれも「<sup>いのち</sup>命より<sup>かネ</sup>カネ」という<sup>しん じ ゆうしゅ ぎ</sup>新自由主義のもとで<sup>だい し ほん か</sup>大資本家・<sup>ざいばつ</sup>財閥が<sup>けんりよく</sup>権力の<sup>ちゅうすう</sup>中枢を<sup>ぎゅう じ</sup>牛耳っていること、<sup>り けん</sup>その<sup>むら</sup>利権に<sup>せい ふ まる</sup>群がって<sup>ふ はい</sup>政府丸ごと<sup>く</sup>腐敗し<sup>く</sup>きっていることである。それらすべての<sup>く</sup>国で<sup>こうぞう</sup>こうした<sup>ぜんめんてき</sup>構造が<sup>あば</sup>全面的に<sup>ろうどうしゃじんみん</sup>暴かれ、<sup>いか</sup>労働者人民の<sup>ばくはつ</sup>怒りが<sup>ぜん せ かい</sup>爆発している。全世界で<sup>ばくはつ</sup>爆発する<sup>ろうどうしゃ</sup>労働者の<sup>たたか</sup>闘いを<sup>こつきょう</sup>国境で<sup>ぶんだん</sup>分断し、<sup>あつさつ</sup>圧殺するために<sup>せんそう</sup>戦争が<sup>きょうこう</sup>強行されようとしているのだ。

<sup>にちべいかん</sup>日米韓に対する<sup>たい</sup>北朝鮮や<sup>きたちょうせん</sup>中国の<sup>ちゅうごく</sup>スターリン主義の<sup>しゅ ぎ</sup>軍事的対抗は、<sup>ぐん じ てきたいこう</sup>労働者人民の<sup>ろうどうしゃじんみん</sup>国際連帯と<sup>こくさいれんたい</sup>プロレタリア世界革命への<sup>せ かいかくめい</sup>闘いを<sup>たたか</sup>否定し、<sup>ひ てい</sup>それに<sup>てきたい</sup>敵対して<sup>あら</sup>新たな<sup>せ かいせんそう</sup>世界戦争への<sup>とつにゆう</sup>突入の<sup>こうじつ</sup>口実を<sup>あた</sup>与え<sup>そくしん</sup>促進する<sup>はんじんみんてき</sup>反人民的なものである。

<sup>かんこく</sup>韓国での<sup>たたか</sup>闘いは、<sup>みんしゅろうそう</sup>民主労総の<sup>ちゅうしんじく</sup>ゼネストを<sup>だいとうりょう</sup>中心軸に、「<sup>か</sup>大統領を<sup>か</sup>すげ替えるだけではダメだ。<sup>ざいばつ</sup>財閥の<sup>かいたい</sup>解体、<sup>しゃかい</sup>社会の<sup>こんていてきへんかく</sup>根底的変革が必要だ」という<sup>ひつよう</sup>数百万人、<sup>すうせんまんにん</sup>数千万人の<sup>たたか</sup>闘いへと<sup>はってん</sup>発展している。アメリカにおいても<sup>べいるう</sup>AFL—CIO（<sup>べいるう</sup>米労働総同盟・<sup>さんべつかい ぎ</sup>産別会議）の<sup>ていこくしゅ ぎ</sup>帝国主義労働運動を<sup>ろうどううんどう</sup>のりこえる<sup>かい</sup>ランク＆ファイルの<sup>かい</sup>階級的労働運動の<sup>きゅうてきろうどううんどう</sup>潮流が<sup>ちょうりゅう</sup>トランプ打倒の<sup>だとう</sup>数百万人の<sup>すうひやくまんにん</sup>決起の<sup>けつ き</sup>先頭に<sup>せんとう</sup>立っている。

日本でもまさに今、同じ闘いに立つ時だ。森友学園事件として次々と暴かれる安倍と極右・日本会議との癒着・一体化による不正は、安倍による戦争と民営化の推進が必然的にもたらした国家犯罪だ。安倍こそその主犯だ！ 首相官邸に捜索に入れ！ 安倍を今すぐ逮捕せよ！

教育労働者は、新自由主義による教育の民営化と非正規職化攻撃のもとで、安倍や資本家に職場の団結と教育労働の誇りを踏みにじられ続けてきた。積年の怒りを爆発させ、この闘いの先頭に立とう。戦争教育と非正規職化に対し団結して闘う教育労働運動を復権させよう。

労働運動の未来切り開く動労総連合の青年労働者

1987年の国鉄分割・民営化以来30年、動労千葉・動労水戸―動労総連合を先頭に闘いぬかれてきた国鉄闘争こそ、すべての怒りを国境を超えてひとつに束ね、社会を根底から変える世界史的な意味を持っている。労働者の団結したストライキで戦争を止めるのだ。

ダイヤ改定当日の3月4日には動労千葉の乗務員約70人がストライキに立ち、ローカル線・地方切り捨てに対する怒りを体現して館山駅前に登場した。動労水戸の全組合員も4日、5日とストライキと街頭宣伝に総力で立ち上がった。さらに東京、神奈川、西日本、福島など全国各地で動労総連合がストライキと統一行動に決起した。

動労総連合の3月決戦はさらに続く。3月31日には福島への被曝と帰還の強制攻撃として、JR常磐線の小高―浪江間運転再開が狙われている。被曝労働拒否のストライキで立ち上がる動労水戸を先頭に、3月決戦を全国で闘い、勝利

しよう。

決定的なことは、この闘いの先頭に、動労総連合に結集する全国の青年労働者が立っていることだ。「国鉄分割・民営化は失敗した！」「団結して立ち上がろう！」と胸を張ってストライキに立ち、ＪＲ東日本本社前に登場、デモを牽引（けんいん）した。

青年たちは、闘いと議論をとおして動労総連合青年部の結成に向け、団結を強めている。30年の国鉄闘争を継承する青年労働者—動労総連合青年部の登場こそ、日本の労働運動の未来そのものだ。

国鉄分割・民営化の破綻とともに、崩壊するＪＲ総連カクマルの「ファシスト労働運動」との革命的な決着をつけるときがきた。それは連合をはじめとする体制内労働運動の打倒に直結する。職場・地域に渦巻く1千万人の怒りと全面的に結びつこう。

ＪＲの「第2の国鉄分割・民営化」と一体の安倍「働き方改革」を粉碎しよう。動労総連合の闘いを全面的に報道する新聞『前進』を、ＪＲをはじめすべての職場に届けよう。

労働運動に人生をかける「階級の指導部」建設を、闘う労働組合拠点の建設と一体で進めよう。新共謀罪攻撃を粉碎し、獄中42年の星野文昭同志奪還の闘いに立とう。すべての青年労働者と学生は革命的共産主義者同盟、マルクス主義青年労働者同盟、マルクス主義学生同盟中核派に結集してともに闘おう。